

HIV/AIDSと関わるようになって20年以上が過ぎました。きっかけは当時勤務していた高校で保健委員の生徒たちとエイズの勉強会を始めたこと。これは大変なことが起きているぞと、みんなで横浜の研修会にも参加し感染者の方々の話を聞きました。

一番衝撃を受けたのは、エイズ・サポート千葉というボランティア団体から来てくれた**アルファ**さん。(下記の書籍の著者の大貫さん) 学校に来てもらって全校生徒がお話を聞き、その後の保健室でのお茶会には、入りきれないほどの生徒が詰めかけました。その時のアルファさんの **CD4 は 1** しかなかった…。**元気な人は 1000 くらいある免疫細胞**です。でもその日不覚にも発熱していた私は、アルファさんに風邪をうつしちゃならないと、なるだけ離れていたのに、車で送ってくれると言われて、結局お言葉に甘えてしまいました。その後彼の体調がすごく心配でしたが幸いうつらずに済みました。アルファさんはそのうち薬ができるから、それまで生き延びれば何とかかなと言っていた。けれど**5年同棲していた彼女と婚姻届を出す予定の日が彼のお葬式**になってしまいました。

それから私はアルファさんのことを語り継ぐ活動を始めました。現在はエイズのことだけでなく、**性感染症予防や望まない妊娠を防ぐこと、LGBT's** (所謂セクシャルマイノリティ) についてなど、「生と性」についていろんな場でいろんな人たちに「伝え」「考えてもらう」ことをしています。

お薬について HIVを増やさずに AIDSを発症するのを防ぐお薬がいろいろできてます。でもまだウイルスをやっつける薬はありません。やはり予防が大切。お薬も昔よりはだいぶ飲みやすくなりましたが、大変なことも結構あるんです。

- ① 飲み忘れちゃいけない！お薬が効かなくなります。
- ② 副作用がある。結構厳しいものも…。
- ③ 値段が高い！一カ月のお薬代、だいたいどのくらいだと思う？なんと約20万円。若くして感染し平均寿命まで治療を継続したら、一人1億円の医療費がかかるといわれています。

※アフリカなど国によってはこの薬が買えず、
満足な治療も受けられない人がたくさんいるんだ。

エイズ・サポート千葉ではセクシャルティに関する相談(面接・電話)を受け付けています。TEL 043-290-4278
第3日曜 15:00~18:00

エイズ文化フォーラム in 横浜

8/7 (金) ~ 8/9 (日)
かながわ県民センターにて
(JR横浜駅西口から徒歩約5分)
毎年たくさんのプログラムが用意されています。高校生もできるボランティアも募集してるよ！詳しくはホームページ参照。

HIV/AIDSのことを知りたい人へ

「神様がくれた HIV」北山翔子 紀伊国屋書店

北山さんはアフリカで保健師として活動していたんですが、HIVに感染。彼女は「知識と行動は別」ということを自らカミングアウトして予防啓発活動に取り組んでいます。

「薬害エイズ原告からの手紙」東京 HIV 訴訟原告団 三省堂

高校生のみんなが生まれる前に日本で起きた現実のできごと。知っておく価値あり。

「エイズを100倍楽しく生きる」大貫武 山下柚実 片野明 径書房

私が尊敬し、大好きな大貫さんの著書。HIVもポジティブなら生き方も超ポジティブ！
「感染しちゃったんだからしょうがないじゃない」と飄々と生きる彼に私は衝撃をくらいました。